

平成二十二年八月三日提出
質問第三一 号

弘前城築城四百年祭に対する国の支援に関する質問主意書

提出者 木村 太郎

弘前城築城四百年祭に対する国の支援に関する質問主意書

青森県弘前市にある弘前城は、津軽家二代目藩主信枚公により、慶長十六年・西暦千六百十一年に築城して以来、永きに渡り弘前市の象徴として市民に愛され、また国内外から多くの観光客が訪れる名所となっている。弘前城の築城は、弘前市が津軽地域の政治・経済・文化の中心都市として発展してきた礎であり、来年、築城から四百年を迎えることは、歴史的にもまちづくりの観点からも大きな意義があると考えられる。

弘前市では来年、築城四百年を迎えるなか、「弘前城築城四百年祭」を開催するにあたり、国の歴史的環境形成総合支援事業に認定され、国の支援を受ける予定であったが、去る六月八日、国土交通省における行政事業レビューにより、事業そのものの廃止が決定され、支援を受けられなくなった。早急な支援体制が必要と考える。

従って、次の事項について質問する。

一 去る六月八日、国土交通省における行政事業レビューにより、歴史的環境形成総合支援事業が廃止となった。その理由は何か。

二 一に関連し、本事業に採択されていた「弘前城築城四百年祭」に対して、政府として新たにどのような

支援を考えているのか。

三 来年度以降、青森県として、本事業から一括交付金への移行を国に強く要請するとの報道があったが、その場合政府としてどのように対応するのか。

右質問する。